

パーキンソン病の専門医：波田野琢先生・・臨床も研究も患者さんのために！

パーキンソン病やレビー小体型認知症、レム睡眠行動異常症を中心に診療をしています。また、神経画像や血液から病気に関係するバイオマーカーを調べる研究や、薬の治療効果を明らかにする臨床研究を行っています。病気を良くするためには薬の治療だけではなく、運動をしたり生活リズムを整えたりすることが大切です。多くの場合、うまく付き合っていくことが出来ます。私は患者さんにとって困ることを汲み取り、「この瞬間」が良くなるために“杖”のように支えられればと思って診療をしています。なんでも相談してください。



パーキンソン病の症状は多彩です

★震えがありませんが、パーキンソン病ですか？

パーキンソン病では静止時の震えが特徴的ですが、実はパーキンソン病のうち約30%の方では、震えがみられません。パーキンソン病の運動症状で必須の症状は、動作がゆっくり（緩慢）になること、筋強剛があること、の2点になります。

★便秘もパーキンソン病の一つの症状

パーキンソン病の90%以上の方が便秘でお困りです。最近ではパーキンソン病は腸から始まると言われているように、診断される前から便秘が始まっていることが多いようです。便秘があると、パーキンソン病のお薬も十分に効いてくれません。週に2回の排便があるように水分量と食事量、運動、そして薬剤も使って、上手にコントロールをしましょう。

★トイレが近くで困ります（頻尿）

年を重ねるとトイレが近くなるものですが、パーキンソン病の自律神経症状の一つに頻尿があります。泌尿器科に受診されたときに、パーキンソン病があることも伝えましょう。

★肩や腰が痛いのもパーキンソン病と関係ある？

あなたの腰や肩の痛み、実はパーキンソン病に関連する痛みかもしれません。整形外科でもらう痛み止めよりも、パーキンソン病のお薬のほうが、その痛みを軽くしてくれませんか？脳神経内科の主治医にも相談してみましょう。



臨床試験参加者を募集中！

□物忘れが気になる方へ

1) アミロイドPET

物忘れが気になるパーキンソン病の方、レビー小体型認知症の方を募集中です。脳にたまるアミロイドを画像で評価をしてみませんか。

2) 軽い物忘れがある方（軽度認知障害）を対象の研究です。心理士による物忘れ検査、MRI画像検査を1年1度ずつ、数年間継続して行います。



□サルコペニア

筋肉量や体脂肪率、骨密度、握力を評価しサルコペニアの状態を把握し、運動機能や認知機能との関連を調べます。

□腸内細菌叢の調査

初めてパーキンソン病と診断された方を対象に口腔内と腸内内の細菌叢を調査しています。唾液を採取するだけですが、疾患進行のメカニズム解明につながる研究です。

□24時間血圧計

パーキンソン病では自律神経障害のために、起立性低血圧や夜間高血圧など一日の血圧変動が大きく、これが心疾患や脳卒中につながる可能性があります。

24時間の血圧を調査してみませんか。

編集後記：すっかり春らしくなりました。No.2をお届けします。穏やかな温かい日差しの中、戸外へ出て、気持ちよく散歩や運動をしていきましょう。姿勢よく、手を振って、足を大きく前にだしましょう。

研究参加に興味のある方は、担当医までお問い合わせください。